

開催日時	令和3年5月14日(金)19時30分～22時30分
開催場所	リモートのみ
出席者	藤井、安尾、大長、帯刀、中村、畑井、日高、相澤、長濱、空野
欠席者	安部、前川理事
記録者	空野
議 題 および 決定事項	<p>1. 各事業について</p> <p>(1) コミュニケーション研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/12に講師松村さんと打ち合わせ実施済</li> <li>・会場は、第1候補が総合リハビリテーションセンター、第2候補はウイズ明石(web環境が整っているため)</li> <li>・グループワークは4人1組(参加者3人+ファシリ1人)で、当日対応可能部員は最大10名であるため募集人数は30人とする。</li> <li>・次回部会で、案内チラシを決定する。</li> </ul> <p>(2) 地域ケア会議推進リーダー導入研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修内容:昨年同様、AMに講義、PMにグループワークで模擬事例の検討とする。</li> <li>・実施場所はweb環境が整っている場所とし、講師と講義や進行役の部員は会場へ(トラブル回避のため)。</li> <li>・その他、昨年は参加者の協会登録メールアドレスに連絡が届かず、4～5人ほど別に連絡が必要であったため、今年は申込時に生きたメールアドレスを登録してもらう工夫が必要。</li> </ul> <p>(3) 姿勢と動作実技研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の流れや構成は昨年度同様のパターンで作成済</li> <li>・SRソフトビジョン貸与が可能となったため、映像等にセンサーを活用できるか担当者で試してみることにする</li> <li>・講義用コンテンツを作成するにあたり、研修内容を参加者が理解するためにイメージしやすいキーワード案を担当者に持ち寄ること</li> </ul> <p>(言葉・表現の方法を細かく3次元化した後に最低限の情報をふまえて、映像・写真を付け加えていくことでイメージしやすいか。言語化するためにもチェックリストを使用していたほうがよいのか。…)</p> <p>(4) 福祉用具研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象用具は、特別な障害に対する補装具ではなく、高齢者の生活支援を念頭に置いて一般的に誰にでも当てはまるものであることを基本とする。</li> <li>・リモートによる研修であるため、使用した感覚ではなく、理屈で理解できるように言語化した内容にしていく必要がある。</li> <li>・上記を踏まえ、担当者が素案を作り、次回部会で再度協議する。</li> </ul> <p>2. 事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会以外の担当者による打合せの際は、交通費や会議費を部長に報告すること。</li> </ul>